

庁 議 録

招集年月日	令和3年12月28日(火)							
開会時刻	午前9時30分	閉会時刻	午前10時05分					
開催場所	401・402 多目的会議室							
出席の状況 (○出席者、代は代理出席)								
1	市長	○	2	副市長	○	3	教育長	○
4	総務部長	○	5	未来政策部長	○	6	財務部長	○
7	市民生活部長	○	8	健康福祉部長	○	9	産業部長	○
10	建設部長	○	11	教育部長	○	12	こども部長	○
13	議会事務局長	○	14	会計管理者	○			
代理出席者								
職務のため出席した者	伊達総合支所長、梁川総合支所長、保原副総合支所長、霊山総合支所長、月舘総合支所長、危機管理担当参事、健康対策担当参事、都市整備担当参事、農業委員会事務局長、行政委員会事務局長、人事課長、秘書広報課長、総合政策課長、財政課長、総務課長							
案件説明のため出席した者								
付議事案 協議事項	<p>1.開会</p> <p>2.報告</p> <p>(1)令和3年度第2回定期監査結果報告書について <b>【総務部】</b></p> <p>(2)福島圏域連携中枢都市圏の形成に伴う状況について <b>【未来政策部】</b></p> <p>(3)公共施設個別施設計画(仮称)の策定に向けた取組について <b>【財務部】</b></p> <p>(4)伊達市長選挙スケジュールについて <b>【選挙管理委員会事務局】</b></p> <p>3.その他</p> <p>(1)特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定(年未年始)</p> <p>(2)その他</p> <p>4.閉会</p>							

## 会議の経過・結果

### 1. 開会

### 2. 報告

#### (1) 令和3年度第2回定期監査結果報告書について

総務部長が資料に基づき説明した。

#### (2) 福島圏域連携中枢都市圏の形成に伴う状況について

未来政策部長が資料に基づき説明した。

#### (3) 公共施設個別施設計画（仮称）の策定に向けた取組について

財務部長が資料に基づき説明した。

#### (4) 伊達市長選挙スケジュールについて

行政委員会事務局長が資料に基づき説明した。

### 3. その他

#### (1) 特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定（年末年始）

#### (2) その他

- ・建設部長が市内における降雪及び除雪の状況について説明した。
- ・教育部長が学校施設周辺における除雪対応について説明した。
- ・こども部長が保育施設、遊び場等の施設における除雪対応について説明した。
- ・健康対策担当参事が福島県主催のバーチャルウォーキング大会における本市参加チームの成績を報告した。
- ・副市長が12月定例会議における質問及び答弁内容をもとに、今後継続して対応すべき内容等について説明した。

### 市長より

本日の大雪について、早朝からの除雪対応に感謝する。年末年始も降雪が想定されるため丁寧な対応をお願いしたい。

今年は、新型コロナウイルス感染症が心配される一年だった。感染防止対策の徹底やワクチン接種の対応、経済対策の下支えなど、速やかで確実な職員の対応に感謝する。

2月には福島県沖地震が発生し、被災家屋調査や罹災証明発行、応急修理、公費解体等、職員一丸となって対応いただいた。また、災害の復旧工事も着実に進められた。職員の迅速な対応に改めて感謝する。

4月には凍霜害があり、果樹を中心に伊達市の主要産物である桃や林檎、柿が相当な被害を受けた。薬剤購入に対する補助、収入保険加入に対する支援、新規就農者に対する支援等、伊達市独自の対応をすることによって農家から高

い評価を受けたと思っている。

また、令和3年は、伊達市の未来をひらく各種事業が開始された年だった。4月には相馬福島道路が全線開通し来訪客が増加している。道の駅だての郷りょうぜんでは、10月期に最高の入込客数を記録し、先日入場者数500万人を達成した。また、新工業団地事業に着手したことで、今後若者が定住するための働く場作りが本格化していくと思っている。堂ノ内地区については、土地区画整理事業が進められ、3年後には大型商業施設のオープンを目指している。大型商業施設来訪者が県北地域でいかに周遊してもらえるかが大きな課題である。高子北団地については、アップデートシティ構想が始動しており、新しいまちづくりを全国に広めていく始まりの場所にしていきたいと考えている。

教育関係については、各こども園の整備事業に着手した。若者の定住には、働く場所だけでなく子育てや教育の充実が重要であるため、こども園の整備をしっかりと進めていきたい。また、伊達小学校の改築工事も順調に進んでおり、GIGAスクール構想やプログラミング教育など、ハード面・ソフト面を合わせた教育環境の充実が進んでいる。

元気づくり会については、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況だったが、参加者や職員の努力により持ち直してきている。元気づくり会を中心に、伊達市の健康づくりをしっかりと進めていきたい。

地域においては、梁川地域では「やなピア」がオープンし、保原地域では保原総合公園でサッカー・ラグビー場の整備、霊山地域ではこどもの村のリニューアル、月舘地域では旧小手小学校の整備、伊達地域では大型商業施設や住宅団地の整備などが開始されている。今後、地域ごとに特色を出したまちづくりをしっかりと進めていく必要がある。

普段の業務をひとつひとつ着実に進めることが市民の幸せにつながると思う。令和3年度に実施した事業を着実に完成させていくことが、来年度に向けた大きな課題である。

今年一年の職員の尽力に感謝申し上げるとともに、年末年始には家族や友達とゆっくり過ごす時間をとってもらいたいと思う。

#### 4. 閉会